

海の底に草原をつくる

プロジェクト

今治のこれからの「海」を担っていく人材を育てるため「海」の自然や海をとりまく人や社会との深い関わりについて関心をもち、進んで調べようとする児童・生徒を育成するための事業です。中学生の世代に参加していただきたいです。



このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



今治の「海」の担い手を育成する事業です。

開催日

2022.6.5 日 雨天決行 荒天中止

開催時間

13:00~17:30

集合場所

はーばりー1Fホール

参加料

無料 (感染対策のため事前登録が必要)

参加対象

今治市内小中学生30人
(※保護者の方も一緒にご参加ください)

時間割

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会式
バス移動
- 14:30 花枝採取(今治市吉海町幸港) 漂流しているアマモの花枝を採取します。
- 16:00 アマモ定植場観察(今治市大新田海岸) この海岸をベースとして海的环境について学習します。まずはこの環境はどうか観察します。
- 17:30 解散時間

主催/特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター
tel 080-3168-7681 fax 0898-34-5696 mail : icpc@major.ocn.ne.jp
後援/今治市

コロナウイルス対応について/換気のため寒さ対策の上で参加ください。当日熱などの症状がある方は参加をご遠慮ください。



事前予約が必要となります。
予約用QRコードを読み取り
必要事項を明記の上予約ください。

14 海の豊かさを
守ろう



今治アマモプロジェクト 海の底に草原をつくらう

アマモ(海藻)とは・・・

海藻の一種で、波が穏やかな、太陽の光が届く浅い砂地の海辺に生えます。アマモがたくさん生えている場所を「アマモ場」と呼びます。「アマモ場」は小さな魚の隠れ処になったり、魚の産卵する場所になります。そのため、「海のゆりかご」とも呼ばれます。しかしアマモは姿を消してしまいました。



アマモの花枝ってなに・・・

花を咲かせてタネを实らせるために、春になるとのびてくる枝を花枝と呼んでいます。

アマモ場は、魚だけでなく、海の環境をよくする働きもしています。

光合成をして酸素を作ってくれる

海の水や海底の泥をきれいにしてくれる

波や流れを穏やかにして海の濁りをおさえてくれる

また、最新の研究では海の中の二酸化炭素を吸収することがわかってきて、地球温暖化を防ぐ役割にも注目が集まっています。



講師 藤原陽一郎

瀬戸内海の海洋漂着物の調査研究に携わる。海岸清掃や海の生き物観察指導にも参加。ビーチクリーンへの協力のほかに、自然科学をテーマに活動を継続。

また、淡水緑藻のシャジクモ科の調査では、県内のため池、水田環境、汽水環境を網羅的に調査し、「愛媛県で確認されたシャジクモ科のリスト」を執筆中。

水草研究会、愛媛植物研究会に所属し、研究成果を発表しています。

イベント参加の注意事項

- ・今治アマモプロジェクトは定植(10月)発表(11月)等を予定しています。なるべくすべての会に参加していただき、アマモの成長過程を見届けていただける方を募集します。
- ・損保ジャパン日本興亜のレクリエーション保険に加入しております。
- ・当日は、スタッフ、マスコミによるイベントの写真撮影、動画撮影が行われます。顔が写った写真が掲載されたり、イベントの様子が動画配信されますので、ご了承ください。

今治アマモプロジェクト申込書

※必要事項をご記入の上、上記のファックスもしくは、メールにお申し込みください。
※定員に達し次第締切りとさせていただきます。
※人数制限がございますので、ご希望の体験にならない場合もございますので、ご了承ください。

保護者氏名	参加されるお子さまの氏名	/	年生
緊急連絡先	メールアドレス(携帯可)		